



**ニッポンの事業競争力を強くする！** 事業継続等の新たなマネジメントシステム規格とその活用等による事業競争力強化モデル事業

事業概要

各グループ概要

取組紹介

イベント

事務局通信

メディア掲載

report 2013/7/30: 協同組合松江流通センター・東三河地域研究センター  
**地域内BCP連携、何をどこまでやるべきか？**



グループ担当  
 コンサルタント  
**黒崎 繁雄**

「こんにちは、事業競争力強化モデル事業 運営事務局の黒崎です。猛暑、ゲリラ豪雨と厳しい天候が続きますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか？」

「の暑さの中、各グループとも本格的な取組を始められました。今回は2つのグループの取組をご紹介します。両グループとも、流通団地、工業団地の差こそあれ、事業競争力の強化について、個社のみならず団地としての共助、並びに地域・地方自治体とのBCP連携の在り方を模索されています。」

**松** 江流通センターでは、福島県商工会連合会広域指導センターの方をお招きし、東日本大震災被災地体験談の講演を開催されました。地域内の官民に広く呼びかけ大盛況の中で、被災後の復旧・復興の経過や具体的な事例、事業再開・継続する企業の共通点等の話があり、熱気にあふれた講演会となったようです。



**ま** た、早々に外部有識者の参画を仰いだ第1回外部委員会を開催し、中国経済産業局、島根県、松江市等関連地方自治体の皆さんも参加され、今回の取組や地域内・地域間・官民連携に関する貴重な助言を頂き有用な議論がなされました。今後の地域内・官民連携BCPの方向性を再認識するうえで大変貴重な機会となったようです。



「方、東三河明海地区産業基地では、自助能力向上のための個社BCP構築セミナーが開始されるとともに、産業基地としての災害リスクを共有し一層の共助の推進と自治体との連携を強化する道筋の具体的な検討が開始されました。」

**す** でに基地内各社の防災対策(津波緊急避難場所、復旧に必要な一部の経営資源等)はある程度開示・共有されており、各種合同訓練等も実施されています。今後は基地としての災害リスクを共有し、予防策やリスクが顕在化した時の対応策の共有、自治体との連携の強化と公助の要請等を具体的に検討されることになっています。

**当** 基地の出荷高は豊橋市の工業出荷額の約半分を担っており、各種リスクに対する強靭性や事業継続能力の強化を官民一体となって推進する必

要があるとの認識です。

**8** 月に入り各グループにおいて多様な取組が推進されていることを実感しており、相互に交流されることにより、一層の相乗効果が期待できるのではと存じております。🇯🇵🇯🇵